

日 時:2023 年 3 月 28 日(火曜日)18:00~19:20

会 場:リモート (Zoom 関西委員会)

＜人名:敬称略、順不同＞

出 席: 嶋、渡辺、下村、及川、小林(義)、小林(浩)、島田、橋本、崎尾、友滝、堤、清水、加藤、高橋、岡、今田 (16 名うち有効出席 15 名)

欠席委任:北島、春日、野田、竹内、中山、鈴木、(6 名)

欠 席:平田、山本、中村、高畑、小谷、成田(6 名)

＜出席者:名簿総数 27 名、出席 15 名、委任 6 名で理事会成立 21 名＞

議 事:議事進行は前回に引き続き事務局今田が進行

議事録添付資料:理事会で使用したPPTに会議結果を追記した資料

※本議事録は会員専用のホームページにアップされますので、概要を理解いただくために理事会で使用した説明資料の PPT の内容と重複する記述がありますが、ご了承下さい。

＜議事内容＞

会議の前に、日本化工機材(株)加藤千明理事の定年退職により、高橋裕美氏が理事を引き継ぐ事で紹介された。

(1)第34回日本包装専士会総会関連事項の確認。

各委員会から提出いただいた 2022 年度活動実績、2023 年度活動計画、予算実績／計画および役員改選について事前配布資料に基づいて要点説明と質疑を行なった。配布資料の各項目の概要と質疑結果で変更になった内容のみ記載します。

以上3案件は、総会議案書の作成の基とし、理事会メンバーに回覧承認していただく。

【2022 年度活動実績】

※2022 年度活動実績は承認されました。(出席＋委任状で21名)

・事務局:2022 年度理事会は本日を含めて 5 回、計画通り実施。新規入会を促進するため、今年度から専士講座修了年度に限り、入会金、年会費を免除することにした。

会計監査は 2023 年 4 月 12 日(月)に岡田紙業の菅監事に行なっていただく。

・展示委員会:TOKYO PACK 2022 に包装 4 団体による集中展示、講演を実施。結果を「包装技術」に掲載。

・セミナー委員会:日本食品包装協会「Next Package 展」に未来包装委員会の「2030 年包装の未来予測」を展示。関西委員会の「ミニセミナー」にコラボ出講。

・情報委員会:各委員会他に協力いただいて、JPI「包装技術」に専士会活動の紹介を中心に出演した。

・未来包装研究委員会:TOKYO PACK 2022 に「2030 年包装の未来予測」を展示。コラボセミナー「Z 世代が問う未来への課題～パッケージ、食品ロス」を企画、実施。CLOMA 技術セミナーで「より良い包装未来の姿と生活者起点の協業、協働について」を講演した。これらを通じて、外部団体との交流が増加した。

・情報システム委員会:ホームページの使いやすい操作、既存掲載内容の訂正、内容の充実を中心に改善作業を進めた。保守管理費用を見直し、年間 84,000 円として、個々の改善は都度見積り、支払い

とした。(従来は保守管理費用 360,000 円／年)

- ・関西委員会: 関西理事会 5 回、ミニセミナーを見学会を含めて 5 回開催。関西の包装団体との交流も実施。
決算状況は収入 0 円、総支出 35,330 円、時期繰越し 129,427 円。

【2023 年度活動計画】

※2023 年度活動計画は承認されました。(出席＋委任状で21名)

- ・事務局: コロナ禍で培ったリモートと対面での会員間、理事会、委員会のコミュニケーションを円滑におこない、一般包装従事者への情報発信、新規会員増強を進めるため、ホームページのさらなる充実をはかる。
- ・展示委員会: 次回 TOKYO PACK 2024 に向けて活動する。JPI の出展募集は9月より開始の予定。
- ・セミナー委員会: 新しいセミナースタイルに対応して専士会の独自性を生かせるやり方を確立する。
- ・情報委員会: 「包装技術」の専士会 PR のページを催事や講演だけでなく、専士会自身の紹介を増やす。
- ・未来包装研究委員会: TOKYO PACK 2024 に向けて活動の取り組みや包装のサステナビリティに関する海外情報の共有化やテーマについて意見交換をしていく。
- ・情報システム委員会: 引き続き、ホームページの改訂、改善を進めていく。各委員会にはホームページに投稿をもっと行なってほしい。
- ・関西委員会: 関西理事会とミニセミナーを対面／Web のハイブリッドで年間各々5回開催する。予算は東京からの講師の交通費を含めて予備費に 30,000 円追加して、全支出 153,000 円を見込む。

【決算報告と予算計画】

※2022 年度決算報告および 2023 年度予算計画書は承認されました。(出席＋委任状で21名)

会計監査は4月12日に実施予定。

① 2022 年度決算報告について

- ・今年度から専士講座修了者はその年度に限り、入会金、年会費を無料としたので、6名分減収となった。
- ・年会費の未入金が17名あり、減収となっている。実質会員を増やすことをお願いしたい。
- ・情報処理費特に HP の保守管理費の変更により年額360千円から84千円に下げ、個別案件を都度払いにした事により、コストダウンになった。
- ・関西委員会の活動費は繰越金だけで賄ったため、今年度は発生せず。

② 2023 年度予算計画について

- ・休会者4名の復帰も含めて、118 名分590千円の会費収入を見込む。
- ・2023 年度は関西委員会の活動費として、50千円を計上した。
- ・役員の東京／大阪の出張費用の一部を交通費に追加し、増額したらどうかの意見。(事務局: 増額する)
- ・情報システム委員会申請のお知らせページの改善、議事録検索の開催日順表示化早急に実施することを本理事会で決めた。(予算4万円、2023 年度予算措置済み)

【役員選出】

※2023 年度役員選出は承認されました。(出席＋委任状で21名)

理事改選、役員改選について。⇒ 別紙 PPT の通り。

⇒ 退任2名: 加藤千明氏 …日本化工機材(株) 三橋博一氏 …大成化工(株)

新任2名: 高橋裕美氏 …日本化工機材(株) 栄 賢治氏 …日清食品ホールディングス(株)

(2)2023 年度理事会検討事項(詳細)

- ◇ 包装専士会理事会理事への就任、並びに委員会メンバーの参加基準や合意形成方法について、決める必要がある。
⇒2023年度の理事会検討事項とする。機密保持・守秘義務に関しては暫定的にルール化する。
- ◇ 理事会(総会)の開催方式についての検討。(Web or Hybrid or 対面 or …)
⇒総会は例年通り、対面で実施予定。
理事会については対面開催と Web 開催を2パターンで行なう(事務局)
対面の場合、終了後、情報交換会の開催も検討する。事務局補佐を募集。
- ◇ 役員の業務分担内容は2023年度も同内容にて継続。
- ◇ お知らせページに掲載する記事を募集します。些細なことでも結構ですので多くの情報提供をお願いします。
情報システム委員会メンバーにメールにて連絡のこと。
- ◇ 特別理事の有田俊雄氏が WPO Lifetime Achievement in Packaging Award 2023(生涯包装功労者賞)を受賞されたので、記念講演／祝賀会等、検討。

- ◇ 理事会は原則奇数月の第3火曜日に開催することを継続する。(60分)
- ◇ 会則／役員選任規程の見直しをするかどうか検討のこと。(会則では2年に1回)

(3)その他(報告事項)

- ◇総会までの作業日程(理事会後打合せ)
 - ・総会資料の作成と理事回覧(担当:今田) ……4/10~15
 - ・総会案内／出欠返信用はがき／年会費請求書等発送(担当:嶋、事務局) ……4/15
 - ・返信はがき受取、集計 ……5/15
 - ・総会当日 ……5/23

- ◇セミナー委員会開催。対面で。6月1日(木)。

以上